

第5回那須クラシック音楽祭

いちごいちえコンサート

《パラグアイ、アンデス音楽の響き》

2024年9月22日(日) 13:00-

場所: ギャラリーバーン(栃木県那須塩原市小結88-197)

出演: 高山 直敏(南米民族楽器演奏家) / 塩満 友紀(アルパ奏者)

演奏予定曲目: 牛乳列車、コンドルは飛んで行く、コーヒー ルンバ、他

入場料: 500円

高山 直敏(南米民族楽器演奏家)

東京都出身、那須塩原市在住。1985年、独学でケーナなど南米民族楽器の演奏技術を学び始める。1994年からは毎年のように、アルパ奏者・ルシア塩満氏のトリオメンバーとして全国各地での公演、1995~2016年、同氏とパラグアイ、アルゼンチン、チリなどでのコンサートツアーに参加。塩原温泉で、2014年より毎年8月、南米音楽の祭典「音魂祭(おんこんさい)」を開催。2021年より那須塩原市立塩原小中学校で子どもたちにケーナの演奏指導を続ける。2024年3月16日、東京・大手町のよみうりホールで開催された「第1回アルゼンチン・タンゴ&フォルクローレの饗宴」に出演し、「¡Hola! 塩原ニーニョス」と、ケーナ、チャランゴで共演。独自の教則本の出版やフォルクローレに根ざしたCD制作など《南米民族音楽の楽しさ》の普及に努め、現在、小山、宇都宮、大田原、黒磯、塩原で音楽教室を開催している。

塩満 友紀(アルパ奏者)

16歳のときにアルパと出会い、日本におけるアルパの第一人者であるルシア塩満氏師事。中央大学法学部卒業後、メキシコにて、セルソ・ドゥアルテ氏のもとで伝統的かつ新しいアルパの奏法を学ぶ。ルシア塩満アルパ教室のピックアップメンバーによる「ラス・カンパーナス」の一員として2012年、2014年と2代にわたりパラグアイ共和国現大統領の来日歓迎演奏を務める。第9回全日本アルパコンクールに出場し、金賞、千葉県長賞、及びパラグアイ大使賞受賞。南米諸国で開催されたアルパフェスティバルに日本代表として演奏。

